

2020年11月2日

各 位

会社名 日本テレビホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大久保 好男
(コード：9404 東証第一部)
問合せ先 経営管理局长 黒岩 直樹
(TEL：03-6215-4111)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）の連結決算において、のれん等の減損損失を計上するとともに、同期間の個別決算において関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

当社の連結子会社であり、総合スポーツクラブ事業を営む株式会社ティップネス（以下、ティップネス）は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、運営施設を休館し、その後感染対策を十分に講じた上で営業を再開いたしました。しかしながら、現在のコロナ禍において、運営施設の会員数は緩やかに回復傾向にあるものの、当初計画通りの会員数確保には至っておりません。これに伴い、事業計画の見直しを慎重に行った結果、ティップネスの株式取得時に超過収益力を前提として計上したのれん及びその他の無形固定資産について、投資額の回収が困難であると判断し、未償却残高の全額となる131億6千万円を減損損失として計上することとなりました。また、ティップネスの事業用資産について、収益性の低下により投資額の回収が困難であると見込まれるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、32億4千万円を減損損失として計上することとなりました。

(2) 個別決算

「(1)連結決算」の背景を踏まえ、当社が保有するティップネスの株式について再評価を行った結果、実質価格が著しく下落していることから、関係会社株式評価損243億7千5百万円を計上することとなりました。また、ティップネスの財政状態の悪化に伴い、同社に対する貸付金について貸倒引当金繰入額26億1千9百万円を計上することとなりました。なお、当該関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額は連結決算において消去されるため、連結財務諸表における影響はありません。

2. 今後の見通し

2021年3月期の連結業績予想につきましては、他の損益影響等も含め現在精査中であり、
まとまり次第速やかに開示いたします。

以 上